



2014 年度 東邦大学大学院薬学研究科 修士課程 薬科学専攻
学術交流協定締結校出身者特別選抜入試募集要項

東邦大学大学院薬学研究科修士課程は、東邦大学薬学部と学術交流協定を締結している海外の大学の卒業生及び卒業見込者に対し、2014 年度特別選抜入試を下記のとおり実施する。

1. 募集研究分野及び募集人員

募集研究分野	募集人員
◆薬 剤 学	【5 年制薬学部出身者】2 名
◆創 薬 化 学	【5 年制薬学部出身者】2 名
◆薬 品 物 理 化 学	【4 年制または 5 年制薬学部出身者】1 名
◆薬 化 学	【5 年制薬学部出身者】2 名 【4 年制薬学部出身者】2 名
◆公 衆 衛 生 学	【5 年制薬学部出身者】1 名
計	10 名

2. 出願資格

- (1) 学術交流協定締結校の薬学に関係する学部卒業生及び卒業見込者で、出身校の教員の推薦を受けた者
- (2) 募集研究分野に関係する基礎的知識を有し、より質の高い研究の場を求める者
- (3) 日本語能力試験 2 級以上又は TOFEL500 点以上 **（中国大学英语 6 級試験合格者（CET-6）でも可）** の能力を有する者
- (4) 入学後、「留学」の在留資格外の活動をしなくとも、日本国内において生活し得る経費支弁が可能である者

*** 瀋陽薬科大学出身者の入学時期について**

- ・ 5 年制薬学部の 5 年次生に在学中の者の入学時期は 2014 年 4 月とする。
- ・ 4 年制薬学部の 4 年次生に在学中の者の入学時期は 2015 年 4 月とし、2014 年 9 月以降、日本語研修を実施することとする。



3. 出願書類及び入学検定料

- | | |
|---------------|--|
| (1) 入学志願書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 志望理由書 | A4判1枚程度、日本語又は英語で作成したもの。 |
| (3) 卒業(見込)証明書 | 出身大学において作成したもの。 |
| (4) 成績証明書 | 出身大学において作成したもの。 |
| (5) 健康診断書 | 出身大学等において作成したもの。 |
| (6) 推薦状 | 出身大学において教員が日本語又は英語で作成したもの。 |
| (7) 保証書 | 日本国滞在中にアルバイト等を実施しなくとも生活し得る経費支弁に関する保証書。保証人が日本語又は英語で作成したもの。 |
| (8) 語学に関する証明書 | 日本語能力試験2級以上の合格証明書の写し及び成績結果通知書の写し、又は TOFEL500 点以上の合格証明書の写し又は中国大学英语6級試験(CET-6)の成績証明書の写し。 |

4. 出願書類提出先

3の(1)～(8)の書類を郵送してください。

期 間 **2013年11月25日(月)～12月4日(月)**

場 所 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

東邦大学習志野学事部学事課薬学研究科教務担当

電話 047-472-1217

5. 選考方法・試験日

書類審査の上、**2013年12月7日(土)**開催の本研究科委員会において合否を判定する。

6. 合格者発表

合格者にのみ通知する。

7. 入学手続

合格者は指定する期日までに所定の入学手続を行わなければならない。



8. 学費等

- (1) 入学検定料 30,000 円
- (2) 入学金 200,000 円
- (3) 授業料 225,000 円 (2期分納制：春学期分)
- (4) 施設設備料 150,000 円 (入学時のみ)
- (5) 災害傷害保険料 2,430 円 (2年分予定)

***合格通知受領後、指定する期日までに合計 607,430 円を本学所定の口座に送金する。**

振込先：三菱東京 UFJ 銀行 津田沼支店（普通）4061806

9. その他

- (1) 一度受理した出願書類、入学検定料は一切返却しない。
- (2) 特別な事情で入学が不可能になった場合、送金手数料を差し引いた上で入学手続金を返還するものとする。



研究分野	担当教員	主な研究内容
薬剤学	教授 寺田 勝英	○ 製剤の設計と評価に関する研究 ○ 固体医薬品の物性評価に関する研究 ○ 医薬品と添加剤の分子間相互作用に関する研究
創薬化学	教授 東屋 功 准教授 鈴木 英治 講師 氷川 英正	○ 結晶化により自発的に生じる光学活性に関する研究 ○ 大環状構造をもつ分子認識分子の創製 ○ インドール誘導体および関連化合物の合成と反応 ○ 水溶液中で進行する合成反応の開発
薬品物理化学	教授 高橋 哲郎 准教授 伊関 峰生	○ 微生物（細菌、藻類）からの新規光受容タンパク質の単離と機能解析 ○ 光受容タンパク質を用いた生体機能の光制御 ○ 新規光制御ツール創成を目指した光受容タンパク質の機能改変
薬化学	教授 加藤 恵介 講師 日下部太一	○ Pd 触媒下のカルボニル化を基盤とした新規反応の開発と天然物の合成研究 ○ 配位子による反応制御
公衆衛生学	教授 井上 義雄 講師 中浜 隆之 講師 菅野裕一朗	○ 核内レセプターの核細胞質間シャトリング機構の解析 ○ 分子生物学的手法を用いた芳香族炭化水素受容体リプレッサー (AhRR) の機能解析 ○ 受容体型転写因子間のクロストーク (AhR/ER) の解析



Toho University

Toho University, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Master's Degree Program, Pharmaceutical Science

入 学 志 願 書

東邦大学大学院薬学研究科長 殿

写真
Photo

40mm×30mm

氏 名
Family name Given names

氏 名
Name

性 別 男 ・ 女
Sex Male Female

生年月日 年 月 日
Birth Year Month Day

住 所
Address

電 話
Telephone

メ ー ル
E-mail

学 校 名
Name of the school

卒業までの所要年数 年
Period of education until graduation Year

卒業又は卒業見込年月日 年 月 日
Date of graduation or expected graduation Year Month Day

入学希望研究室
A laboratory to hope
